

VI. 先輩からのメッセージ

第 14 期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

大学生活はいかがだったでしょうか。岩本ゼミは毎年学生にとってはかなり大変なゼミだと思いますが、皆さんは本当に真剣に取り組んでいたと思います。経済学の知識はもちろんですが、それ以外にも皆さんがそれぞれ岩本ゼミで得たものは、この先どのような道に進んだとしても必ず助けになってくれると思います。皆さん同様、私もそろそろ卒業の足音が近づいてきました。次はお互い卒業生として青竹会でお会いしましょう。皆さんのご活躍を心より願っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

9 期生 荒戸 寛樹

岩本ゼミ 14 期生の皆様、そして今年度ご卒業される皆様ご卒業おめでとうございます。

時の流れは早いもので皆様と共に活動をしたディベートや三大学、そして ISFJ の記憶がつい最近のことのように入えます。それぞれ直前は先輩方の協力も得ながら朝まで激論を交わし、皆様方から刺激を受けることや助け舟を出されることも数多くありました。卒業して、それぞれ新しい環境に飛び込んでいくこととなると思いますが、ゼミで培った知識や考え方を武器に新たな旋風を巻き起こしてくださることと入っております。

私は現在、民間の金融機関に籍を置いており、金融の実務を基本から学ぶと同時に、金融業界だけでなく経済の厳しい現状を目の当たりに入っております。”100 年に一度の危機”とメディア等が取り上げるだけあり、経済状況の目まぐるしい変化には驚かされるばかりであります。ただ、そのような中で、ゼミの中で学んだ論理の組み立てや経済学の考え方が入ること入現状に対する捉え方に深みが入わっているとしばし感じ入ることがあり、そのたびにまたゼミを思い出しては懐かしく感じ入っております。(こんな偉入ようなこと入えるほど私は勉強しておらず、大口をたたいて恐縮ですが…)

つらつらと偉入入なことを書いてしま入ましたが、改め入して、卒業生の皆様が、それぞれの方面でご活躍することを切に入願入っております。機会が入りましたら、是非、岩本ゼミで集入って、お酒を飲入明かし、語入い入しょう。

13 期生 佐藤 健太